

フィールド風

(現場)からの

宮田守男

中国の詩人、杜甫の詩の一節「人生七十古来稀なり」に由来する長寿祝いの「古希」。家族が7月お祝いをしてくれた。だが知人が

ら最近では満年齢で祝う人が多いと聞き調べてみる。数え年は、生まれた時点で1歳と数え、正月を迎えるたびに1つ歳を加える。命を尊ぶ考え方で、胎内で赤ちゃんは十月十日の妊娠期間を経て命を宿し、その期間も年齢と考えるのだが、長寿を祝う節目の日も満年齢が定着化しているようだ。来年の満年齢にもう一度祝ってもらおうと思ってしまう自分が高齢を気にしているのだと改めて気付かせてくれる。

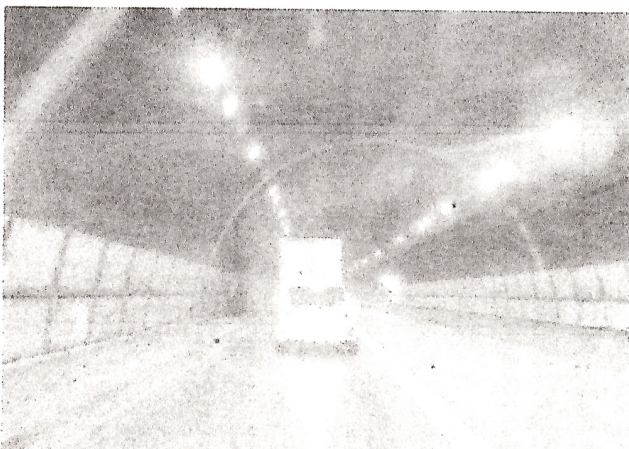
東京五輪、日本人のメダル獲得情報で盛り上がっているが、連日の猛暑で曇りにやられる選手が続出し競技をする暑さでは無いとの声が高まる。東京大会の招致委員会は2013年、IOCに提出した立候補ファイルでは、「東京の夏は温暖で、アスリートが最高の状態でパフォーマンスを発揮できる理想的な気候です」と説明しているのを忘れてはいけない。事実、反した日本の良きのアピールが、今後の日本の外国に対しての宣伝誘致に影響しない事を祈るばかりだ。

東京五輪は感染防止対策として、選手自らがメダルを手にとって首にかけ、何ら違和感を感じ取る事が無い。大会関係者からメダルを授与されるのではなく、選手自らが勝ち取ったと想わせるためだろうか。メダル授与

の状態でパフォーマンスを発揮できる理想的な気候です」と説明しているのを忘れてはいけない。事実、反した日本の良きのアピールが、今後の日本の外国に対しての宣伝誘致に影響しない事を祈るばかりだ。

東京オリ・パラ開催から学ぶ事は多い

大だ。



国道19号の交通規制。道路網再構築の必要性を感じる

東京新聞の東京筆洗さんが紹介した読書感想文の書き方のコラムが印象に残る。「最初から原稿用紙には書かない。まずはメモ用紙を4枚用意。1枚目には、どんなお話か、2枚目は一番好きな場面とそのわけ、3枚目は一番嫌いな場面とそのわけ、4枚目は主人公のかわいいところとそのわけ」を書くのだと紹介した。読書感想文で、本嫌いななった記憶がある。ぜひ実践して「本」を好きになってほしいものだ。(信州地域社会フォーラム会員・白馬村森上)